

決算説明会

2020年3月期

自然随順の思想で地球に新たな軌跡を描く



西部電機株式会社

(東証二部・福証 証券コード6144)

目 次

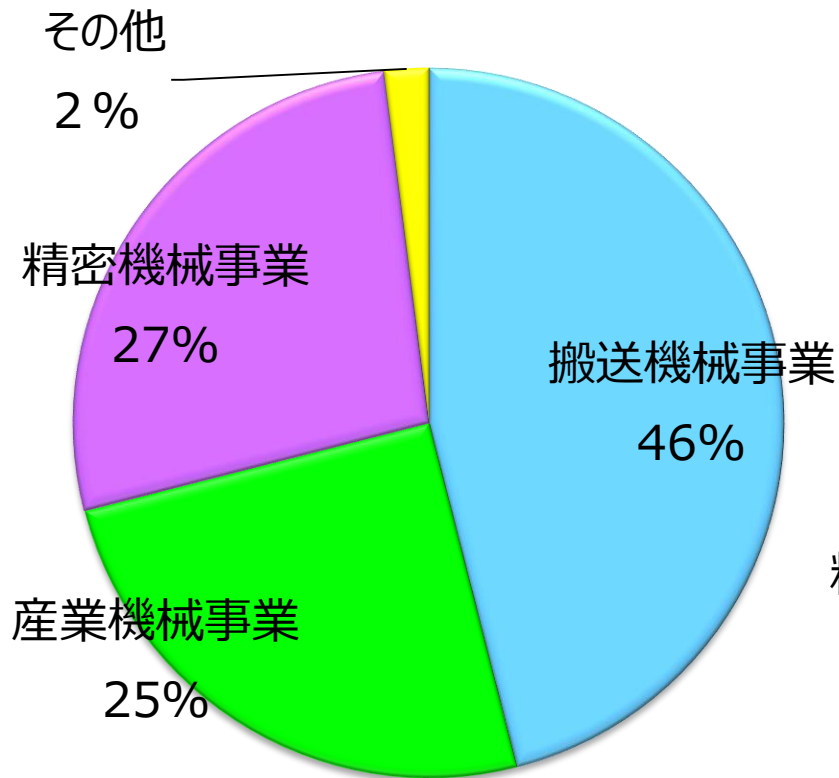
◇ 会社概要	2
◇ セグメント別売上高比率	3
◇ 経営環境	4
◇ 2020年3月期 連結業績（概要）	5
◇ 2020年3月期 連結業績（推移）	7
◇ 受注高（セグメント別）推移	8
◇ 売上高（セグメント別）推移	9
◇ 営業・経常・当期純利益推移	10
◇ B S（連結）	11
◇ C F推移	12
◇ 2021年3月期 経営方針	13
◇ 2021年3月期 今期の重点施策	14
◇ 2021年3月期 業績予想	15
◇ 2021年3月期 セグメント別売上高予想	16
◇ 設備投資、減価償却費、研究開発費	17
◇ 各事業の概況と通期見通し等	18
◇ 配当政策、株主還元に対する考え方	27
◇ 「チャレンジ240」中期経営計画	28

会社概要

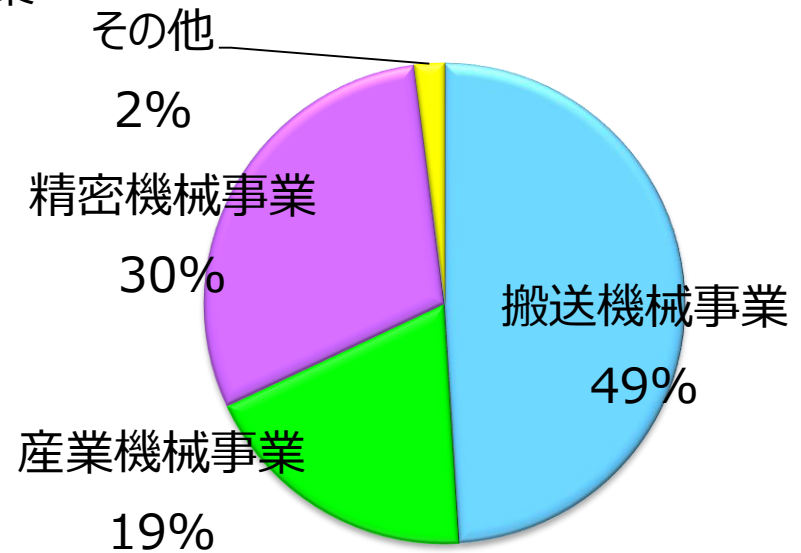
商号	西部電機株式会社 Seibu Electric & Machinery Co.,Ltd.
証券コード	6144
上場	東証2部(2006年) 福証(1986年)
本社	福岡県古賀市駅東3-3-1
創業	1927年1月
資本金	26億58百万円
発行済株数	15,160千株
時価総額	149億7千8百万円(2020年5月27日現在)
売上高	237億4千4百万円(2020年3月期:連結)
従業員	525名(連結) 473名(単体)
グループ会社数	3社 西電興産株式会社、株式会社西部ハイテック、 西部ペイント株式会社
HPアドレス	https://www.seibudenki.co.jp/

セグメント別 売上高比率

< 2020年3月期 >



< 2019年3月期 >



2020年3月期の経営環境

プラス要因

- 労働力不足の深刻化に伴う省人化に対する自動化の流れ
- 企業収益や雇用・所得環境の改善

マイナス要因

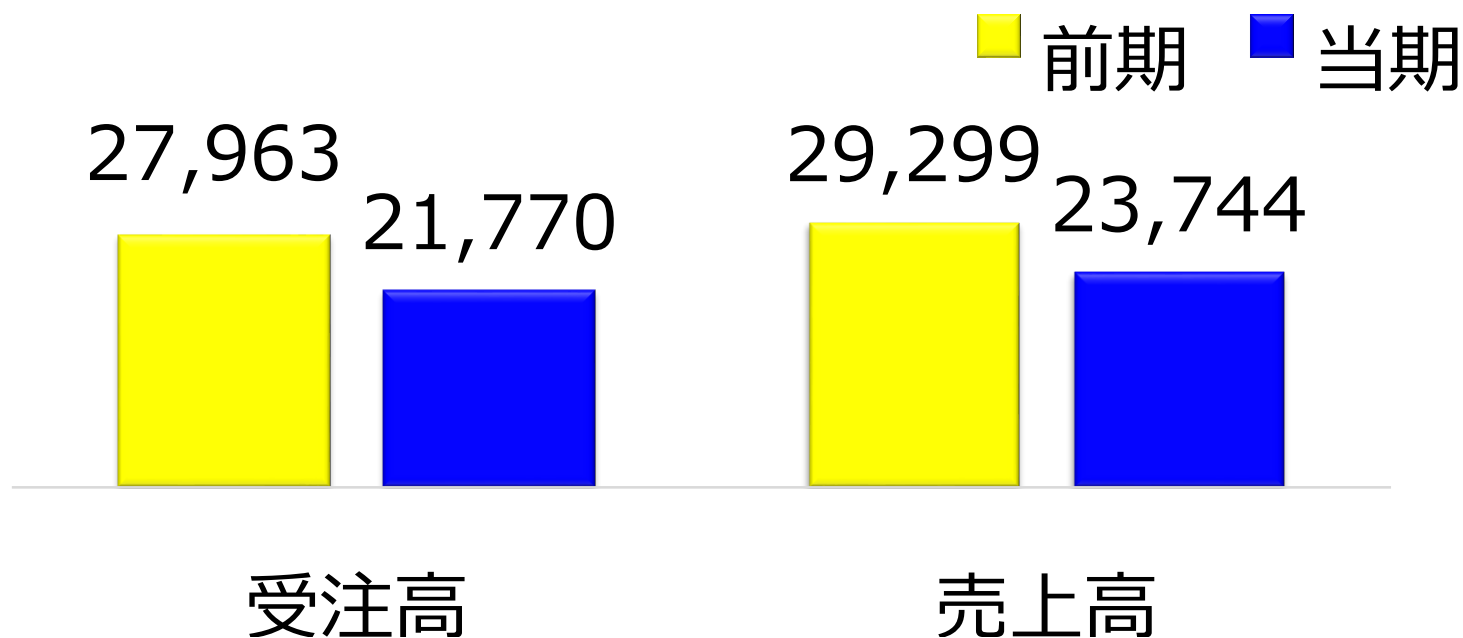
- 米中貿易摩擦の長期化による影響拡大
- グローバルで設備投資に対する慎重な姿勢

総じて緩やかな拡大を背景にスタートしたが・・・

米中間の貿易摩擦などの懸念材料を抱え、
新型コロナウイルスの世界的拡大による先行きの不透明感

2020年3月期 連結業績（概要）

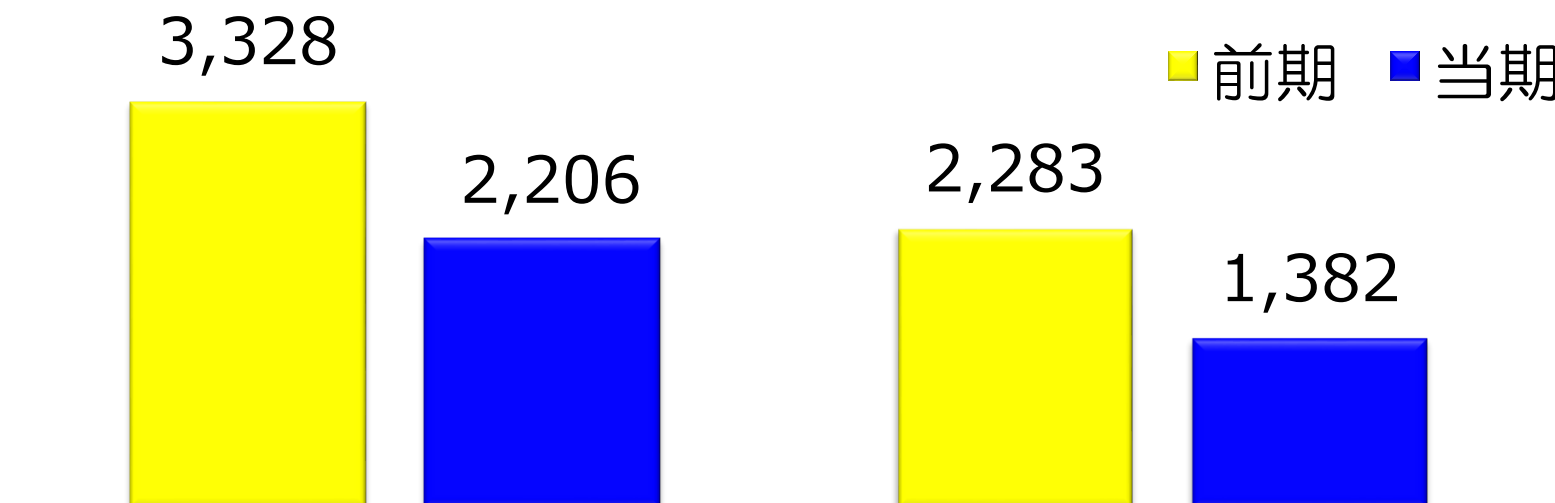
	当 期	前期比増減
受 注 高 （百万円）	21,770	△22.1%
売 上 高 （百万円）	23,744	△19.0%



- 受注高は3年連続200億円超。
- 売上高は前年の過去最高には及ばなかったが3番目の実績。

2020年3月期 連結業績（概要）

	当 期	前期比増減
経常利益（百万円）	2,206	△33.7%
当期純利益（百万円）	1,382	△39.5%



経常利益

当期純利益

- 経常利益は前年に続く過去2番目。
- 当期純利益は3年連続10億円超。

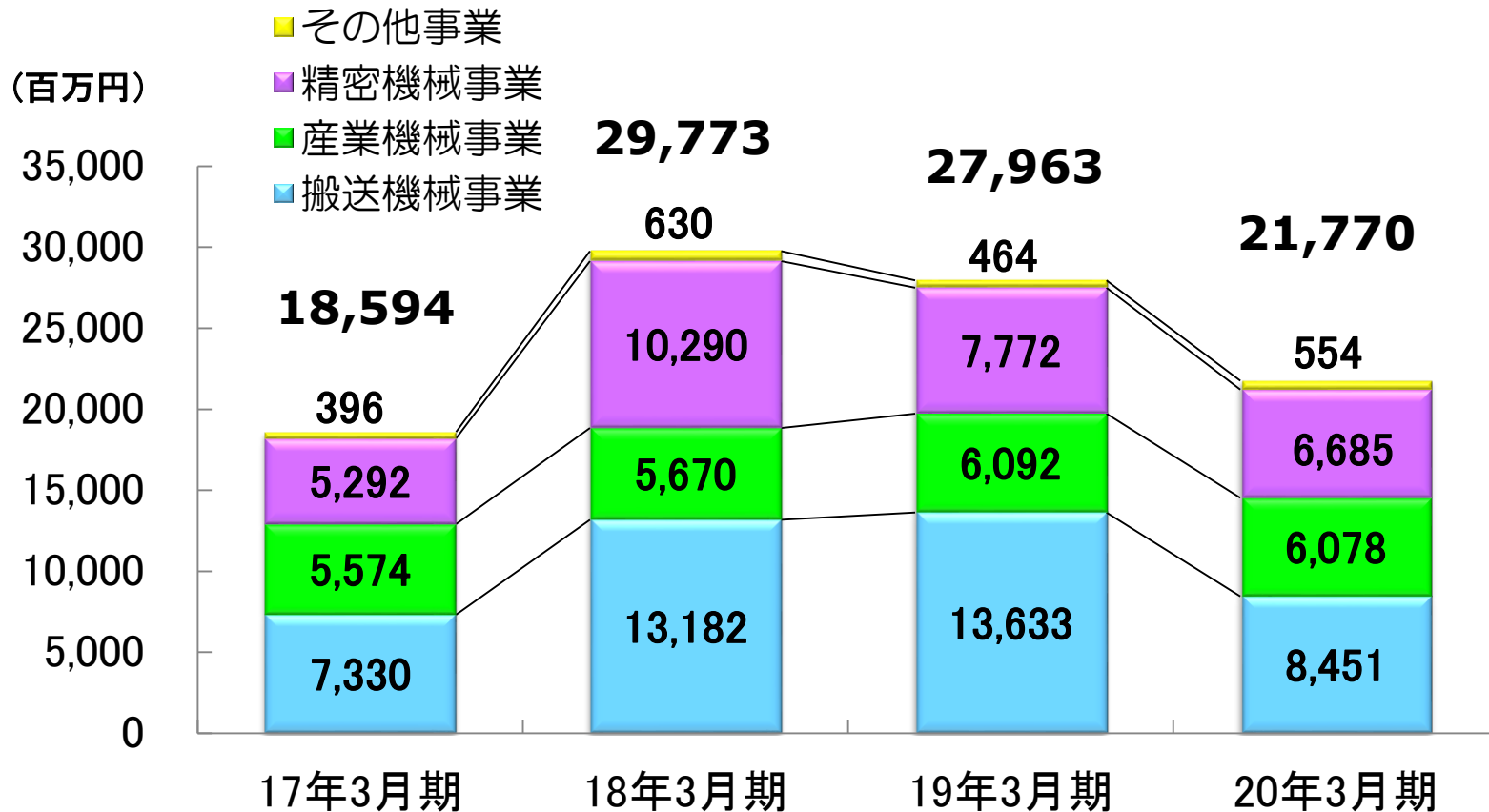
2020年3月期 連結業績（推移）

単位(百万円)

	2019年3月期 実績	2020年3月期 期初予想	2020年3月期 実績	前年実績比 (%)	期初予想比 (%)
受注高	27,963	20,600	21,770	△ 22.1	5.7
受注残高	10,964	9,350	8,989	△ 18.0	△ 3.9
売上高	29,299	22,200	23,744	△ 19.0	7.0
売上総利益	7,867	5,480	6,343	△ 19.4	15.7
営業利益	3,198	1,480	2,077	△ 35.1	40.3
営業利益率(%)	10.9	6.7	8.7	△2.2pt	2.0pt
経常利益	3,328	1,560	2,206	△ 33.7	41.4
当期純利益	2,283	1,080	1,382	△ 39.5	28.0

➤ 減収・減益となったものの、期初予想に比べ、受注高・売上高・各利益とも上回った。

受注高（セグメント別）推移



➤ 20年3月期のポイント

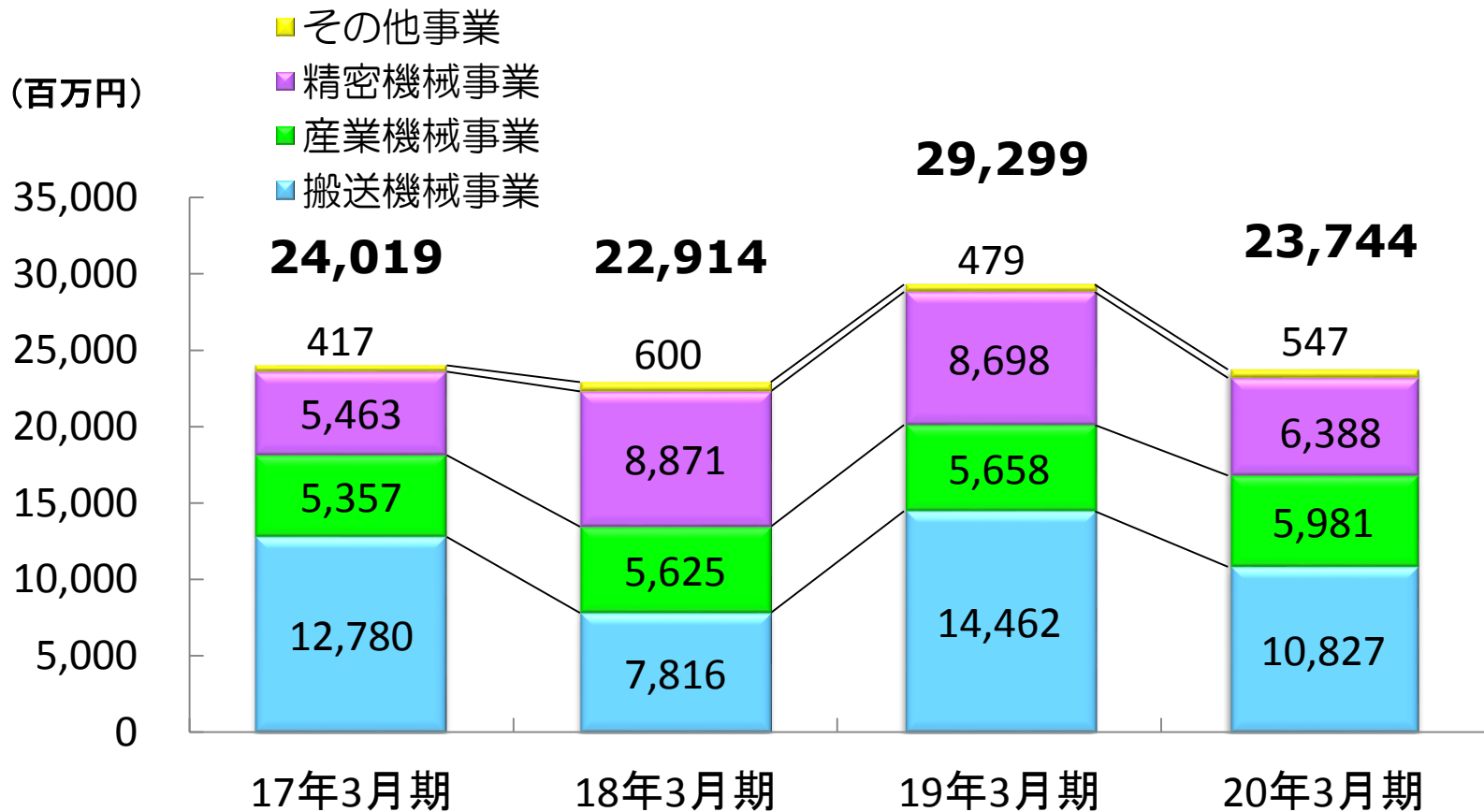
搬送機械事業：大口物件が減少して前年比38%の減少。

産業機械事業：民需は健闘したが、官需が台風被害復旧のための計画変更の影響を受け、前年比微減。

精密機械事業：米中貿易摩擦と新型コロナウイルスの影響を受け、前年比14%の減少。

全社では、3年連続200億円超を確保。

売上高（セグメント別）推移

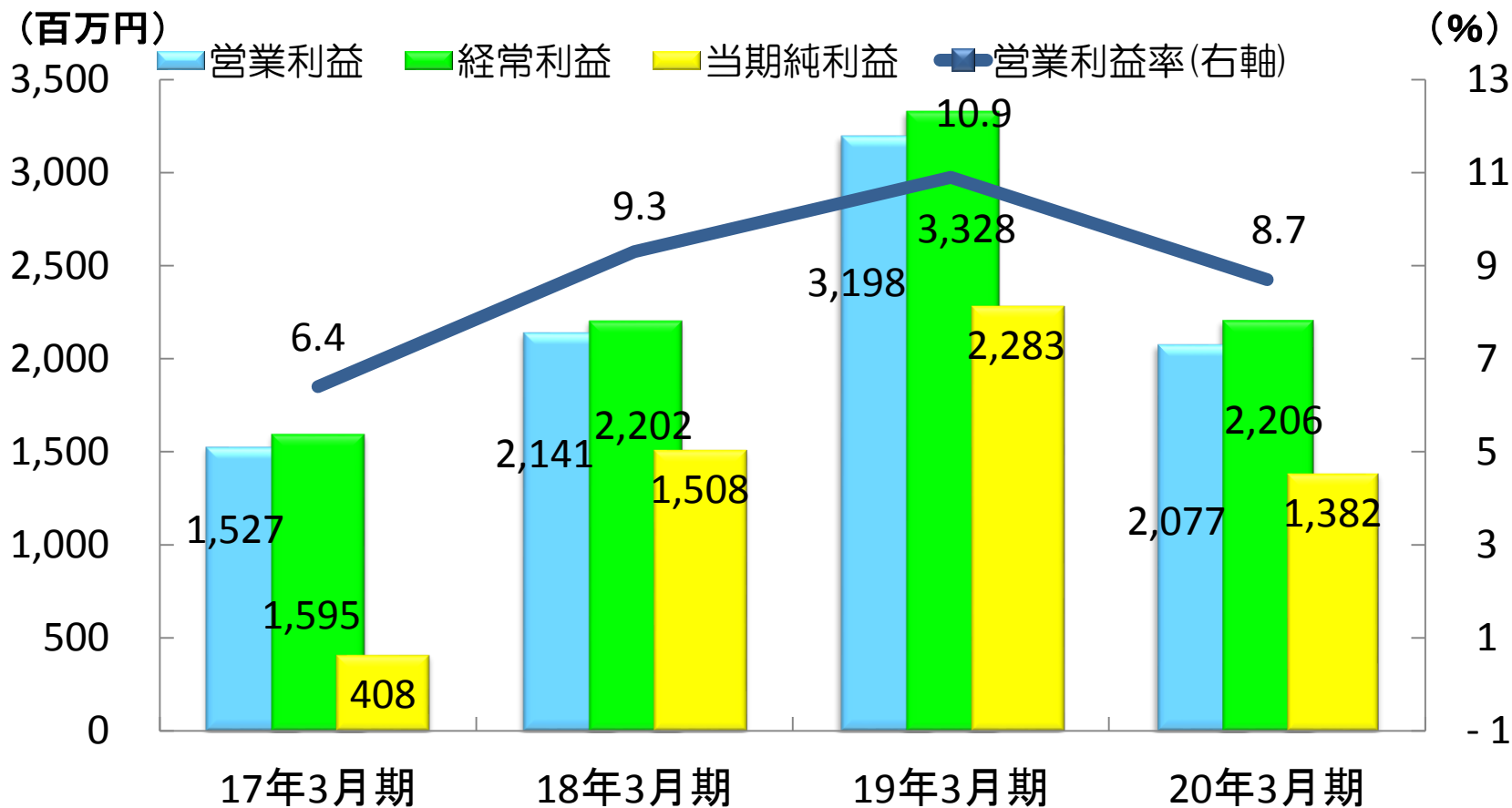


➤ 20年3月期のポイント

- 搬送機械事業：大口物件が減少したものの過去3番目の108億2千7百万円の売上。
- 産業機械事業：4期連続増収の59億8千1百万円の売上。
- 精密機械事業：米中貿易摩擦と新型コロナウイルスの影響を受け、前年比28%減の63億8千8百万円の売上。

全社では、過去3番目の237億4千4百万円となった。

営業・経常・親会社株主に帰属する当期純利益推移



➤ 20年3月期のポイント

当社グループ一丸となってコストダウンと経費節減に注力したが、売上高の減少（前年実績比△19%）に伴い、各利益とも減益。なお、経常利益は前年に続く過去2番目の実績。

連結貸借対照表

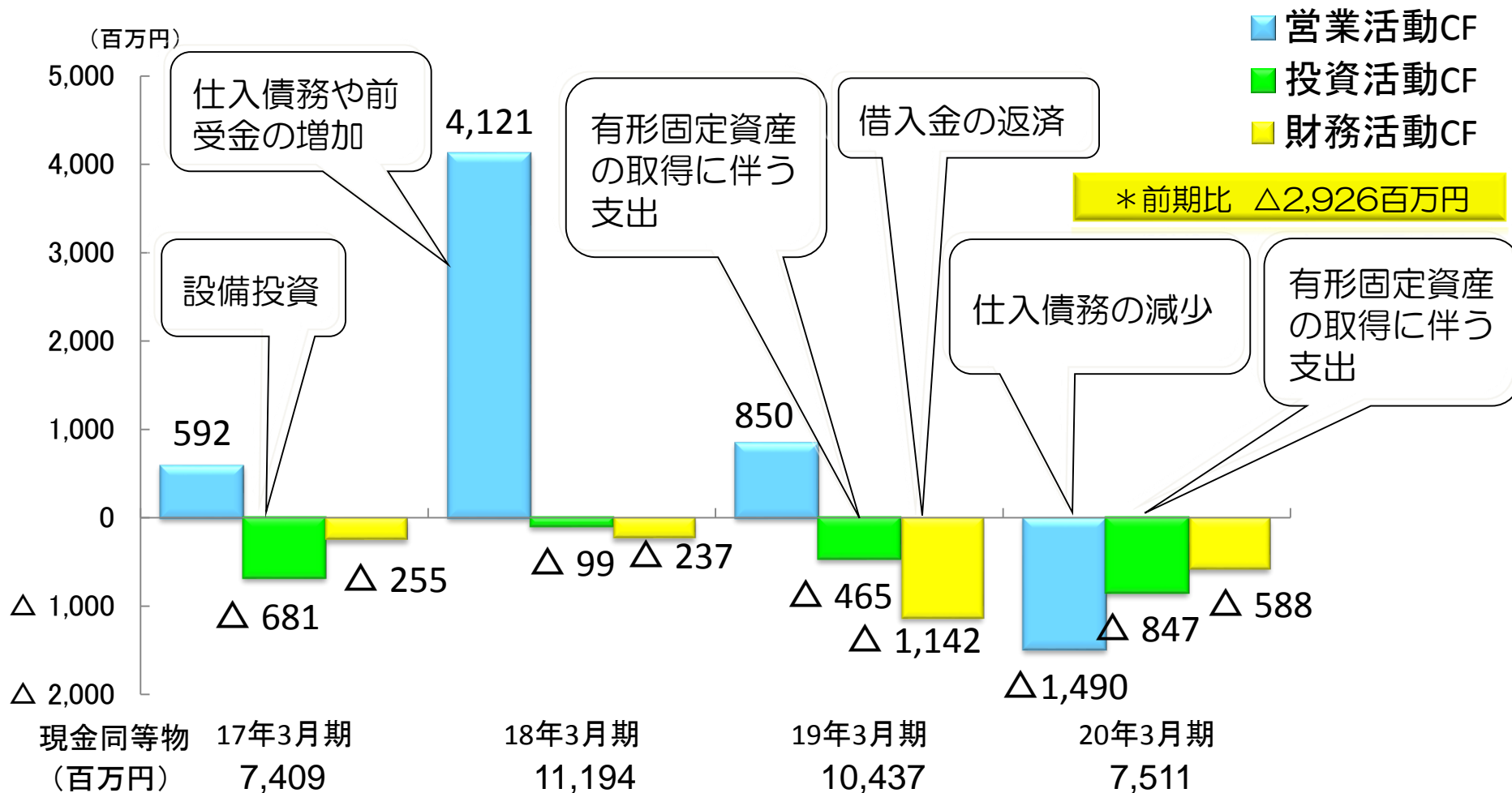
単位(百万円)

	2019/3月期 通期	2020/3月期 通期	増減	ポイント(前期比較)
流動資産	24,100	21,037	△ 3,063	
現金及び預金	10,577	7,651	△ 2,926	仕入債務の支払による減少
売上債権	10,337	9,671	△ 666	
仕掛品	1,127	1,450	322	
原材料及び貯蔵品	1,967	2,196	228	
その他流動資産	93	69	△ 23	
固定資産	15,028	14,282	△ 746	投資有価証券の時価下落による減少
総資産	39,129	35,319	△ 3,809	
流動負債	13,146	9,236	△ 3,909	
仕入債務	9,616	6,306	△ 3,309	支払による減少
その他流動負債	3,530	2,930	△ 600	前年度の法人税の支払による減少
固定負債	3,648	3,578	△ 69	無償改修に伴う製品保証引当金の取崩
純資産	22,334	22,504	170	利益剰余金の増加等による増加
負債及び純資産	39,129	35,319	△ 3,809	
(自己資本比率)	57.1	63.7	6.6pt	

➤ 20年3月期のポイント

- ①現金及び預金(2,926百万円の減少) : 仕入債務の支払による減少。
- ②固定資産(746百万円の減少) : 投資有価証券の時価下落による減少。
- ③仕入債務(3,309百万円の減少) : 支払による減少。
- ④純資産(170百万円の増加) : 利益剰余金の増加等による増加。

キャッシュフロー推移

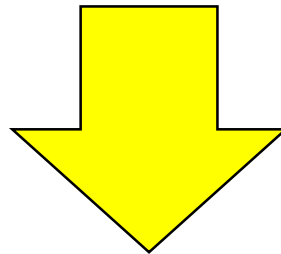


➤ 20年3月期のポイント

仕入債務の支払による減少や有形固定資産の取得に伴う支出により、現金及び現金同等物は減少。

2020年度経営スローガン

中長期計画の達成に向けて
チャレンジして行こう



重点施策

『受注の確保』 『コストの削減』 『品質の向上』

『受注の確保』

- 機械技術・ソフト開発および提案力の強化。
- 3年後、5年後を考えた商品開発・技術開発の強化。
- 国内外へのサービスメンテナンスの強化。

『コストの削減』

- 機械設計力の強化。
- IT導入による、工数削減、納期短縮の推進。
- 技能継承による作業効率upに注力する。

『品質の向上』

- 品質は企業の命であり、お客様からの信頼を得るための最低条件である。
チェック機能を働かせ、品質の向上を図る。

2021年3月期 業績予想

単位(百万円)

	2020年 3月期実績	2021年3月期予想			
		上期	通期	前期比	
				増減額	増減率 (%)
受注高	21,770	11,230	23,000	1,230	5.6
受注残高	8,989	9,500	8,700	△ 289	△ 3.2
売上高	23,744	10,630	23,260	△ 484	△ 2.0
売上総利益	6,343	2,690	6,130	△ 213	△ 3.3
営業利益	2,077	602	1,940	△ 137	△ 6.6
営業利益率 (%)	8.7%	5.7%	8.3%	△ 0.4pt	—
経常利益	2,206	640	2,020	△ 186	△ 8.5
当期純利益	1,382	440	1,350	△ 32	△ 2.3
1株当たり純利益 (円)	91.23	29.04	89.11	△ 2.12	—

➤ 21年3月期のポイント

- 受注高は、新型コロナウイルスの影響により国内設備投資に不透明感はあるものの、回復が見えつつある中国向け精密機械と底堅い搬送機械の自動化需要を取り込む。
- 売上高は、5年連続の220億円超を目指す。
- 経常利益は、4年連続20億円超、当期純利益は4年連続の10億円超を目指す。

2021年3月期 セグメント別 売上高予想

単位(百万円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期予想			
		上期	通期	前期比	
				増減額	増減率 (%)
搬送機械事業	10,827	4,550	9,200	△ 1,627	△ 15.0
産業機械事業	5,981	1,900	6,140	159	2.7
精密機械事業	6,388	3,970	7,350	962	15.1
その他事業	547	210	570	23	4.2
合計	23,744	10,630	23,260	△ 484	△ 2.0

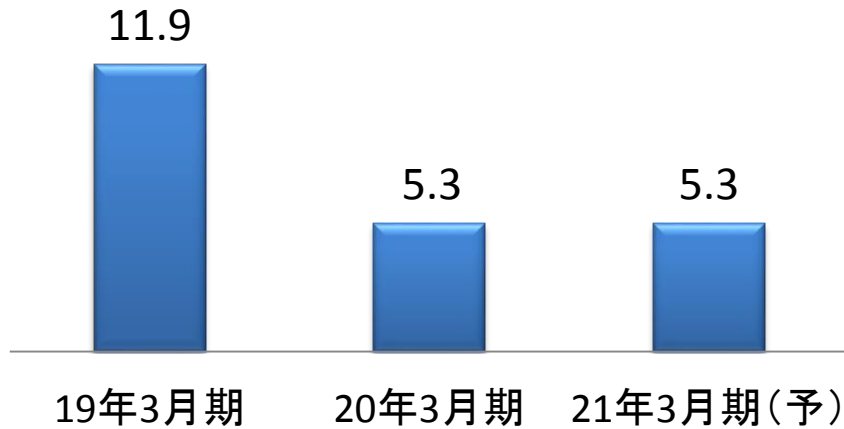
➤ 21年3月期のポイント

- 搬送機械事業 : サービス体制の強化と新規顧客の開拓。
- 産業機械事業 : サービス強化とゲート市場でのシェアアップ。
- 精密機械事業 : 国内外での新規市場への拡販。

設備投資、減価償却費、研究開発費

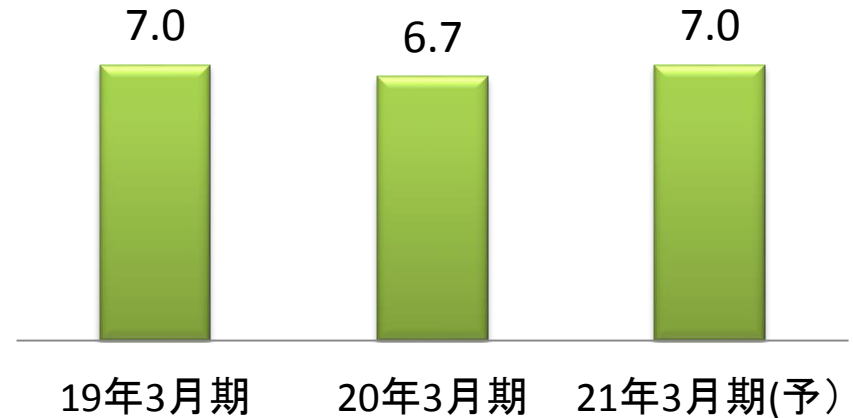
(億円)

■ 設備投資額



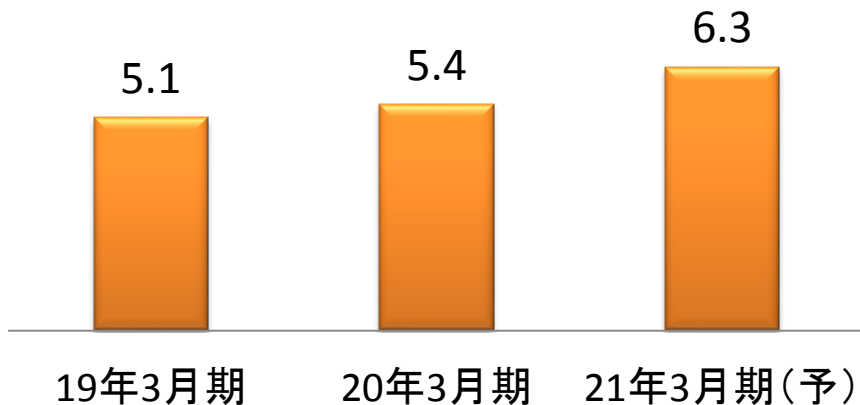
(億円)

■ 研究開発費



(億円)

■ 減価償却費



【設備投資額】

- 19年3月期は、精密第2工場の新設。
- 21年3月期は、新機種開発に向けた高精度測定器の導入と生産設備の老朽化更新。

【減価償却費】

- 減価償却費は、前年度並み。

【研究開発費】

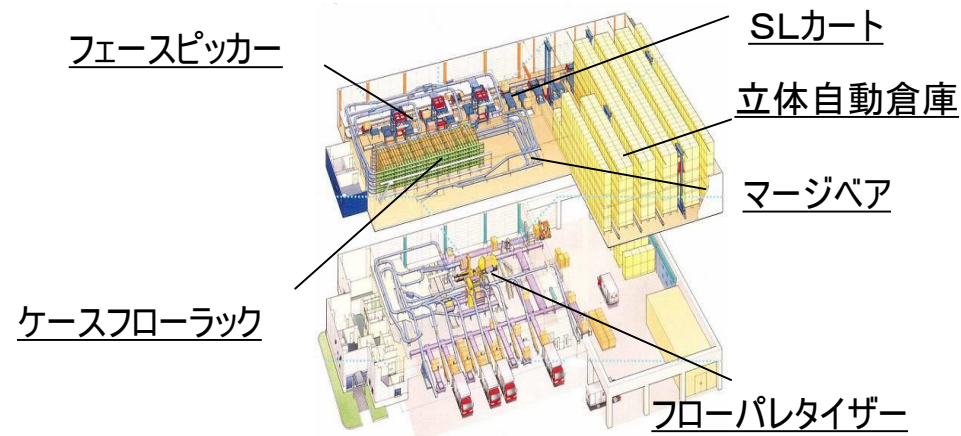
- 市場や顧客にターゲットを絞った研究開発。
- 中長期を見据えた開発計画の推進。

搬送機械事業の概況

【Seibuピッキングシステム概要】

□ 主要商品

- 立体自動倉庫
- FAシステム
- ケース自動ピッキングシステム
- 搬送・ハンドリングシステム
- ロボティクスマテハン



□ 事業の特徴

- 自社開発・販売
- オンリーワン商品
- 24時間対応サービス体制
- 優れたソフト開発力

□ 主な納入先業界

< 業 界 >
食 品
医 薬 / 化 学
機 械
電 気 機 器
そ の 他

□ シェア(推定値)

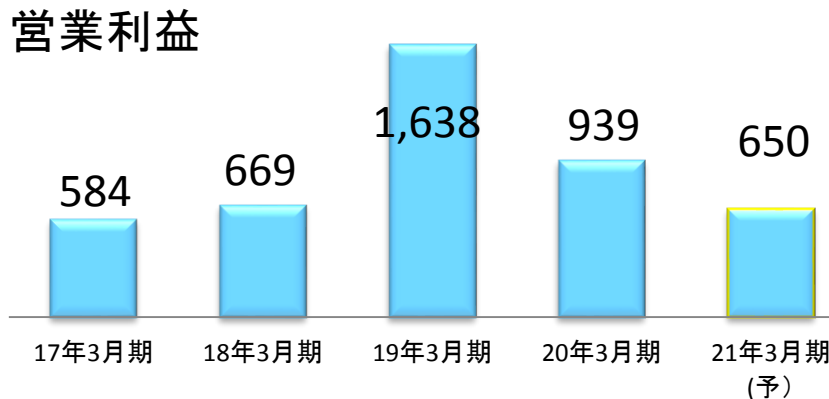
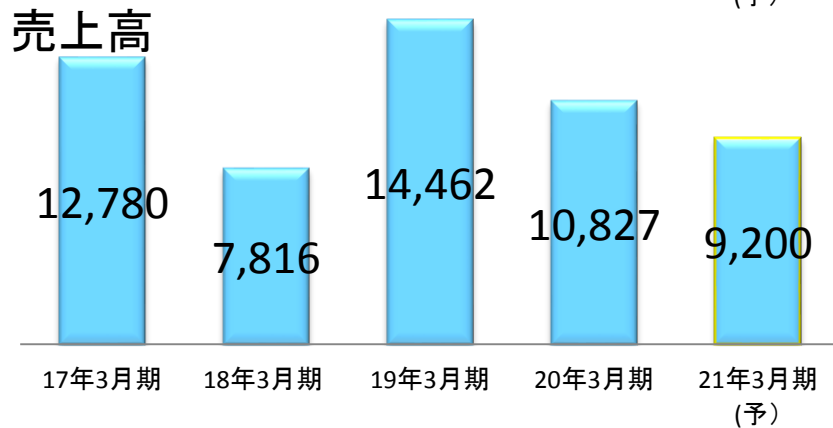
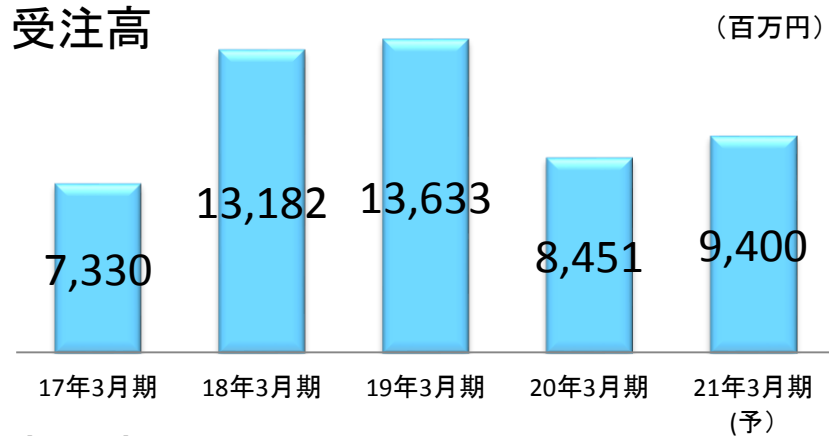
- 立体自動倉庫市場 20%
- ピッキングシステム
(高速分野) 10%
- 無人加工システム市場 40%

搬送機械事業

2021年3月期の基本方針

1. ロイヤルカスタマとの関係強化と新商品による新市場の開拓。
2. 次世代ピッキングシステムの開発。
3. 業務プロセスの改革と国内外のサービス体制の強化。

搬送機械事業 通期見通し



重点施策

- 顧客の課題解決型『トータルソリューションシステム』の提案、製造・販売。
- 『ロボティクス・マテハン』の開発、製造・販売。
- 食品・流通・電池・薬粧・機械の各業界を重点に拡販。
- (株)豊田自動織機殿との機種統合による標準自動倉庫のOEM供給。
- 国内外（中国）向けサービスメンテ事業の強化。

新商品

『6輪カート専用パレタイザ：カートケースローダー』

カートケースローダーの特徴は、6輪カートへケースを自動で積み付けるシステムです。多関節ロボット比、設置面積50%以下、コスト60%以下となり、作業員2名分の処理能力を有して、出荷部の省人化へ貢献します。パレデパレ商品のシリーズ化を進めてまいります。

ロボティクス・マテハン＝マテハン専用機器とロボットやIoT、AI等の最先端技術をインテグレートしたシステムで、物流の自動化を実現します。



産業機械事業の概況

□ 主要商品

- バルブアクチュエータ
- ゲート駆動装置
- バルブ制御システム



(バルブアクチュエータ)
Semflex®シリーズ



(大型チェーン式ゲート駆動装置)
型式 LCM-700W

□ 事業の特徴

- 高い市場占有率
- 納入実績74万台
- サービス・メンテナンス網の充実
(全国をカバー)

□ シェア (推定値)

- 上下水道 70%
- 電力・鉄鋼 20%
- 河川・ダム 40%

□ 主な納入先業界

< 業界 >	
官庁関係	(厚生労働省・国土交通省・防衛省・各地方自治体 他)
バルブ・ゲートメーカー	各社
電機・重工・造船	各社
その他	

産業機械事業

2021年3月期の基本方針

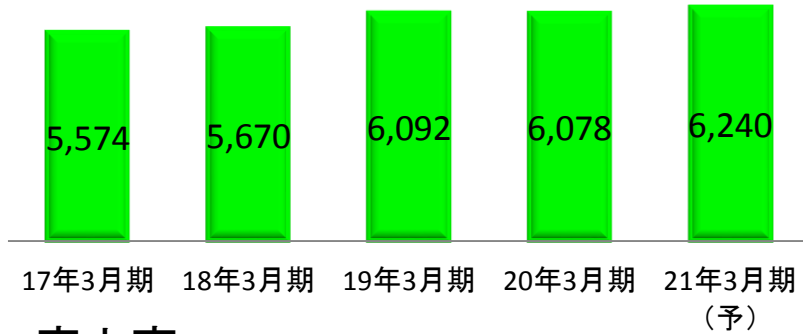
1. 民需市場の新規開拓、ならびにサービスの強化とメンテナンス受注の拡大。

2. 新規ゲートメーカーの取込みにより、シェアを拡大する。

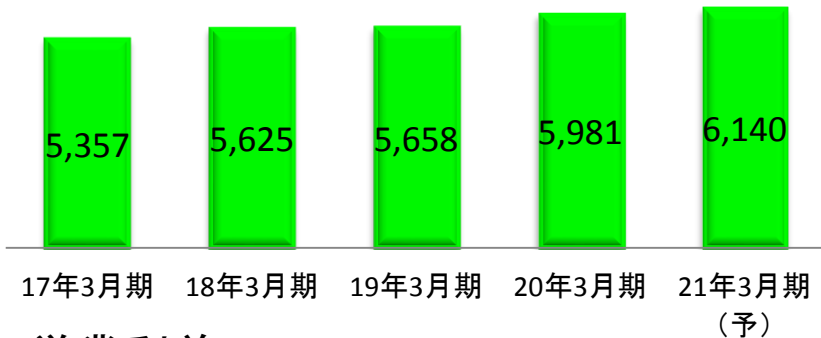
3. 海外進出のための準備と現地生産体制の充実。

(百万円)

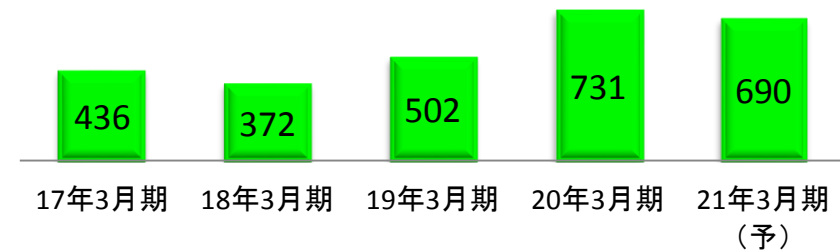
受注高



売上高



営業利益



重点施策

- 鉄鋼などの民間企業をターゲットに提案型新システムの拡販。
- 国内火力発電所の新規案件の受注獲得。
- 造船・ガス分野にVMMで新規参入及び載せ替え案件の受注獲得。
- 大型ゲート物件のコストダウンと拡販。
- メンテナンス受注の獲得。
- タイ市場の拡張。現地生産の充実と整備。

新商品 『SBS 西部バックアップシステム』



昨今、地震・大型台風・豪雨などにより、大規模停電・ブラックアウトが社会問題となっている。

この問題に対応する停電時バックアップシステム (SBS) の開発を行い、災害対策事業へ参入を図る。

精密機械事業の概況

□ 主要商品

【放電加工機】

- 超精密・高精度ワイヤ放電加工機
- 超精密ワイヤ放電加工機（油仕様）

【工作機械】

- 高精度小形NC旋盤
- 高精度複合研削盤



（放電加工機） MEX15



（工作機械） SFG-35UP

□ 事業の特徴

【放電加工機】

- プレート加工におけるピッチ精度と加工安定性において、金型業界No.1
- ワイヤ自動供給装置は、業界No.1の高評価

【工作機械】

- 小物量産旋盤加工における抜群の寸法安定性
- プレス金型等における研削加工分野への市場拡大

□ シェア（推定値）

- 放電加工機：18%（国内生産分）
- 工作機械：高精度対象商品

□ 主な納入先業界

< 業界 >
精密金型 他
自動車・航空機
電子・電機
光学
その他

精密機械事業

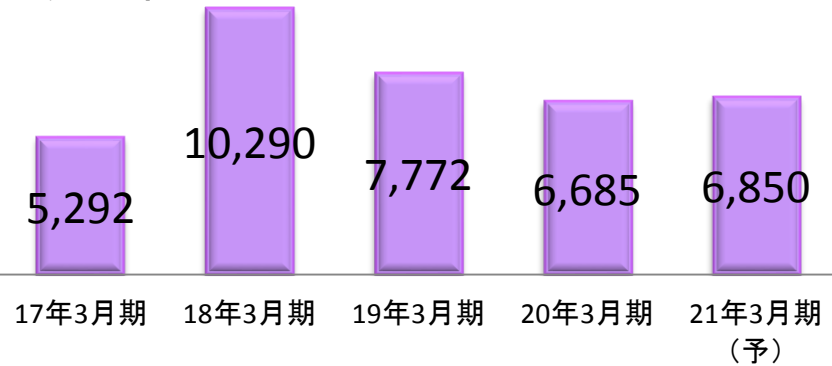
2021年3月期の基本方針

1. 地域別の販売戦略を展開し、海外受注の拡大を目指す。
2. 注目分野（5G・半導体・電気自動車）に向けたシステム開発、新ユニット開発のスピードアップ。
3. 保守、技術サポートを充実させ、顧客からの信頼度を高め、当社のブランド力と知名度をアップさせる。

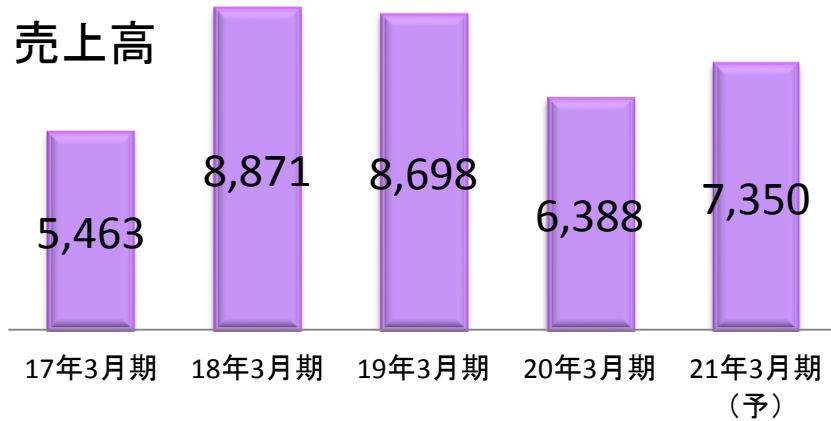
精密機械事業 通期見通し

(百万円)

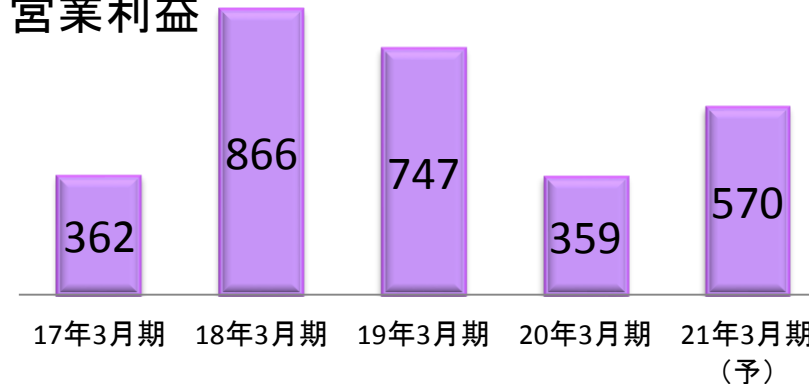
受注高



売上高



営業利益



重点施策

【放電加工機】

- 超精密加工機『M E X 1 5』の拡販。
- プレート加工に特化した超精密加工機のラインアップ完成。
- ラインアップの拡張。高精度・超精密をアピールし海外市場獲得。

重点施策

【工作機械】

- 金型業界へ高精度複合研削盤として、S F Gシリーズを国内外に拡販。
- 高生産性の客先ご評価を基に、自動車及び航空機の高精度部品加工機として拡販。

新商品

高精度自由形状内面研削盤「SFG-35UP」



最大把握ワーク外径

φ150mm対応可能な

高精度自由形状内面研削盤

- ① R・テーパなど、連続的な形状を高精度かつ高効率に加工可能。
- ② 最大把握ワークサイズφ150×L150mm
最大加工長さ100mmを実現。
- ③ 「切削＋研削」の複合加工にも対応。
- ④ 大画面の対話式タッチパネルを採用し、操作性が大幅向上。

株主還元に対する考え方

■ 配当政策

株主還元につきましては、経営の重要課題の1つとして認識しております。配当政策については、安定的配当を基本としつつ、業績の向上によって1株当たりの利益水準を高めるとともに、中長期計画、財務状況、収益性を考慮しながら、これに対応した配当を決定すべきと考えております。

1株当たりの配当金実績と予想（2020年5月15日現在）

	2018年3月期 実績	2019年3月期 実績	2020年3月期 (予定)	2021年3月期 (予想)
中間期	7.00円	15.00円	12.50円	14.00円
期末	23.00円	25.00円	15.50円	14.00円
年間	30.00円	40.00円	28.00円	28.00円

■ 株主優待

株主優待制度を実施しております。3月31日現在の株主名簿に記載された当社株式1单元（100株）以上保有の株主様に当社オリジナルQUOカード1,000円を贈呈いたします。

「チャレンジ 240」中期経営計画

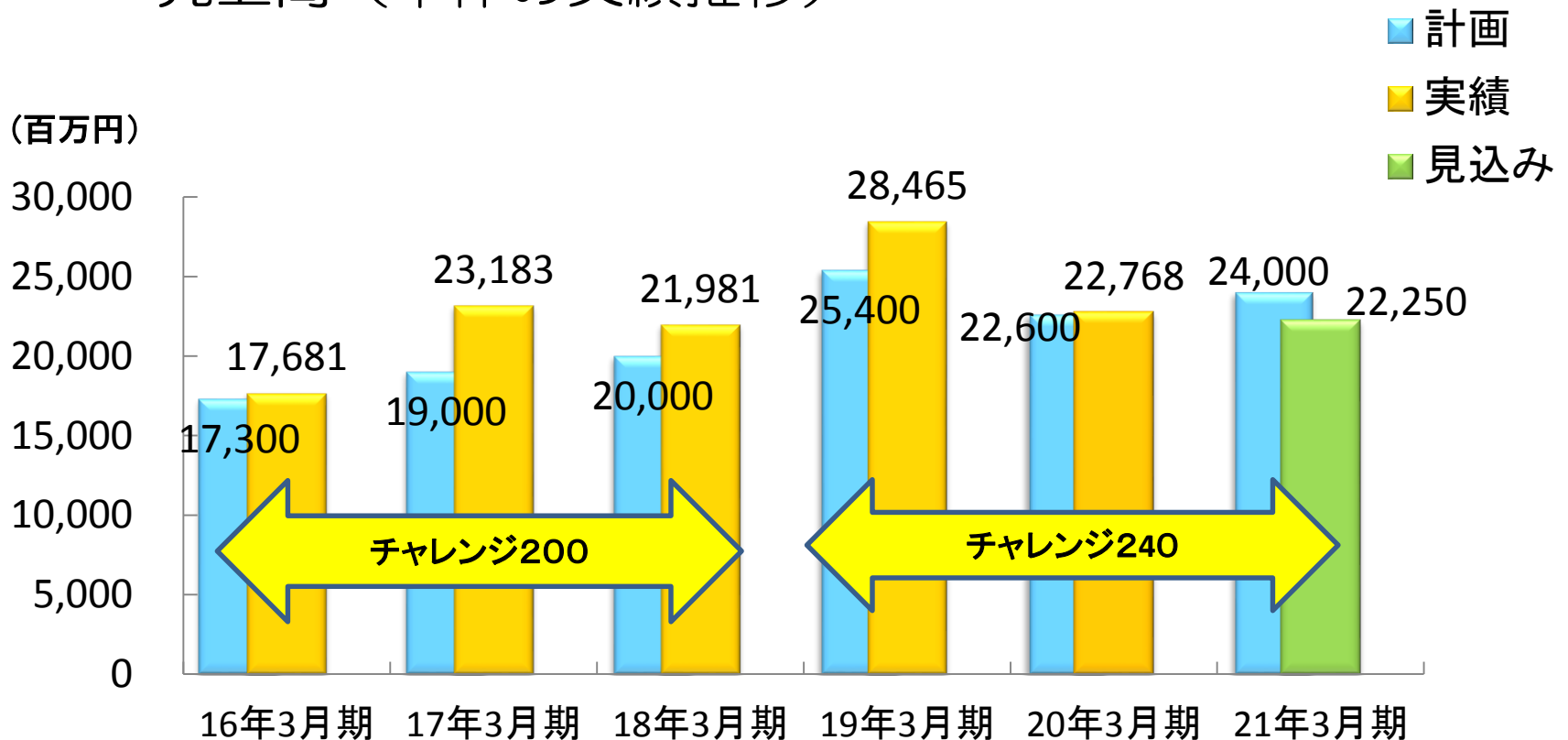
当社は、**「超精密とメカトロメーション」**を追求する**「ものづくり企業」**として、保有するあらゆる経営資源を結集し、**お客様の生産性、利便性の向上に貢献する商品、サービスを市場に供給する**とともに、各ステークホルダにご満足いただくように健全で継続的な成長経営を実践します。

2018年度をスタートとし、常時売上高240億円以上の確固たる基盤を作るため、3カ年の経営計画（**チャレンジ240**）を定め実施しています。

- (1) 中長期計画の達成に向けてチャレンジして行く。
- (2) 標準化とコスト低減と共に、品質改善による商品力アップを図る。
- (3) 技術開発のスピードを上げ新商品を創出する。
- (4) 海外、特に中国・東南アジア地区への拡販で、海外売上比率の向上を図る。
- (5) ロイヤルカスタマの開拓を推進し、サービスの強化による市場拡大を目指す。

「チャレンジ 240」中期経営計画

売上高（単体の実績推移）



- 中期計画チャレンジ240では常時売上高240億円以上を達成する為の確固たる基盤を構築して参ります。
- 期首計画（21年3月期）は、中期計画を下回るが、目標設定は変えず、下期上積みを図り、最終年度として計画達成を目指す。

【搬送機械事業】

特需を除き、安定的な事業規模の確立。

【産業機械事業】

安定成長・利益重視・シェア確保。

【精密機械事業】

事業部経営の安定と成長を図るために
増収・増益を達成する。

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスク及び不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値と異なる結果となる場合があります。



西部電機株式会社

東証二部・福証（証券コード：6144）

〈お問い合わせ先〉 管理部 総務課

TEL：092-941-1500

FAX：092-941-1511

URL：<https://www.seibudenki.co.jp/>